

ご縁で拓く
すずかの未来

鈴鹿市企業版ふるさと納税のご案内



SUZUKA CITY

©TEZUKA PRODUCTIONS



人口 195,015人
面積 194.46km²
(2024年3月末時点)

鈴鹿市は、日本のほぼ中央に位置し、東に伊勢湾、西に鈴鹿山脈と恵まれた自然環境の中にあります。農業と工業がともに成長した「緑の工都」として現在に至っています。また、自動車レースの最高峰「F1」が開催されるモータースポーツのまちとして全国的に知られています。

ご支援いただきたい地方創生の取組

子どもが輝き 人と文化を育むまち事業

『さあ、きつともっと鈴鹿。』で子育て 「すずっこまんなかプロジェクト！」



本市の未来を担う子どもたちの健やかな育ちを確保するため、子どもや保護者の声に耳を傾け、その声を「まんなか」に、途切れない支援を実施します。
子育て世帯が相談できる場所や地域と関わる機会を確保し、地域社会全体で子育てを支える仕組みづくりや、妊娠・出産・子育ての各フェーズにおける支援や講座、情報提供を強化します。

《関連するSDGsのゴール》



《目標額》

200万円程度

第4回すずかロゲイニング

スポーツを通じた市民の健康への意識を高めるため、普段スポーツをしていない市民も、気軽に参加できる活動の機会を提供しています。ニュースポーツである、ロゲイニング大会を開催し、大会へ参加してもらうことで、市民の健康の保持・増進につなげるとともに、大会への参加による地域の魅力の再発見に寄与します。



《関連するSDGsのゴール》



《目標額》

10万円程度

生命と財産を守り抜ける 安心・安全のまち事業

大規模災害から命を守る！ ～避難所環境の整備～



震度5弱の揺れを感じて、避難所の鍵を収納したキーボックスが自動で解錠します。

早期に市民の自主的な避難所開設が可能になります。

夜間や休日などに施錠している避難所を災害時にいち早く解錠するため、揺れを感じて自動解錠するキーボックスを設置し、その中に避難所の鍵を収納する取組を進めています。
本事業により、大地震の際、市民が自主的に避難所を早期開設することができ、避難者の安全・安心に繋げることができます。



《関連するSDGsのゴール》



《目標額》

900万円程度

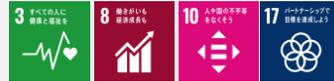
健やかに いきいきと暮らせるまち事業

障がい者の社会参加応援プロジェクト 音声化のための環境整備事業

地域共生社会の実現に向けて、障がい者の方の社会参加の支援に取り組んでいます。そのなかで、視覚障がい者の方への支援として、音訳ボランティアグループの協力により、自治体の発信する情報を「声の広報すずか」として配付する取組を行っています。
録音環境を整備することで、行政情報を速やかに音声化し、障がい者の方の情報の取得利用を図り、社会参加を促進します。



《関連するSDGsのゴール》



《目標額》

220万円程度

持続可能な産業の発展と にぎわいや交流が生まれるまち事業

「鈴鹿deはたらこっ！」プロジェクト

市内企業の人材不足が深刻化する中、外国人労働者の増加など労働環境の変化に加え、育児や介護との両立等により、働き方に対する労働者のニーズは多様化しています。

鈴鹿市公式ウェブサイト等に、「働き方改革に率先して取り組む企業」として魅力ある職場情報を発信することにより、優れた取組が市内に広がり、労働者が将来にわたって、安心していきいきと働ける環境づくりの拡大につなげていきます。



《関連するSDGsのゴール》



《目標額》

600万円程度

自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち事業

「東西医学を融合した新しい薬膳」発信プロジェクト “おいしいYAKUZENであなたも健康に！”

「桜の森公園」内に、薬膳を提供する飲食店を整備します。学官連携により、薬膳の専門家で構成される「(一社)日本薬膳学会」監修のもと、「鈴鹿医療科学大学」が運営します。東洋の伝統医学に立脚した薬膳に、西洋医学における栄養学のエッセンスを加味した「科学的根拠」に基づいた新しい薬膳の魅力を発信し、食による健康を広めます。

鈴鹿医療科学大学 × 鈴鹿市



《関連するSDGsのゴール》



《目標額》

5,000万円程度

食品ロスゼロのまち推進事業

食品ロス削減の取組に、より幅広い市民の皆様に参加していただくため、次年度から小学生になる5歳児とその保護者を対象に、「スズカでフードスマイル」事業※を行います。また、『食品ロスゼロチャレンジ』や『鈴鹿市フードドライブ推進事業』も、継続して実施し、食品ロスゼロのまちを目指します。



食べものに、もったいないを、もういちど。
NO-FOODLOSS PROJECT

※対象児童が朝食・夕食を残さず食べ、食品ロスが発生しなかったら「ろすのん」シールを貼ります。30枚貼ることができたら、市内企業で製作する特製スプーンを贈呈します。

《関連するSDGsのゴール》



《目標額》

260万円程度

みんなで支える 自分らしく生きるまち事業

多言語動画で生活ルールをやさしく解説！ ～外国人市民向け多言語生活ガイダンス動画作成事業～

本市の外国人人口は、1万人(2024年4月末時点)を超え、今後も増加と多国籍化が見込まれます。互いの文化的ちがいを認め合い、外国人市民も地域において安心して生活できるよう、多言語動画によるサポートを行います。税金やごみのルール、災害等の緊急時の行動など、各種制度やルールの要点をまとめた動画を作成し、動画サイトやSNS等へ掲載します。さらに、作成した動画を外国人が多く所属している市内の企業や大学等へ配布します。



《関連するSDGsのゴール》



《目標額》

800万円程度

すずか未来デザインLABO

まちの将来を担う若者に鈴鹿市が「最高に住みやすいまち」と感じてもらうため、人とのつながりやデジタル技術を活用した取組を進めます。その中で、本市内外の若者と鈴鹿市の未来を描き、より良いまちにするためのデジタル技術を活用したアイデアを共創します。



《関連するSDGsのゴール》



《目標額》

200万円程度

大阪・関西万博における シティプロモーション事業

2025年に開催される大阪・関西万博には、国内外から約2,820万人が来場すると想定されています。これを絶好の機会と捉え、大阪・関西万博に出展し、地域産品の一つである鈴鹿産のお茶を活用したシティプロモーションを行います。出展に向けて、国内外からの来場者に、本市の魅力をPRするためのコンテンツを制作します。



©TEZUKA PRODUCTIONS

《関連するSDGsのゴール》



《目標額》

300万円程度

寄附の申し出に関するお問い合わせ

財政課

☎ 059-382-9041

✉ zaisei@city.suzuka.lg.jp

制度に関するお問い合わせ

総合政策課

☎ 059-382-9038

✉ sogoseisaku@city.suzuka.lg.jp

事業の詳細や手続は
コチラ



鈴鹿市ウェブサイト

ご興味のある取組がありましたら、まずはお気軽にご相談ください！

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）とは？

10万円から
ご寄附いただけます

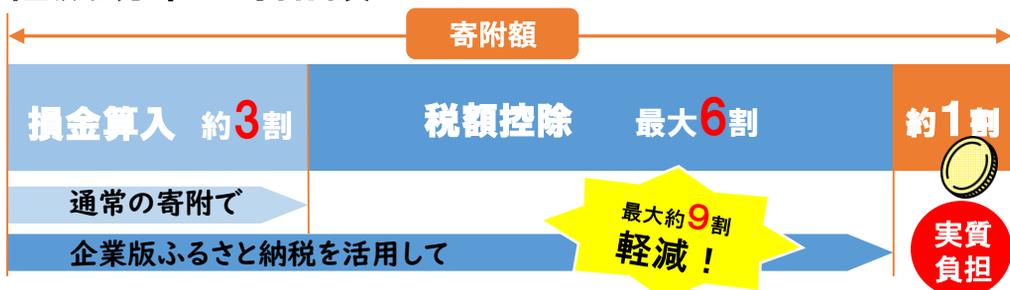
地方公共団体が行う地方創生の取組に対して企業が
寄附を行った場合に、**法人関係税の優遇措置**が受けられる仕組みです。



Point 1

軽減効果は寄附額の最大約**9割**！

※税額控除の手続(申告)や算出に関しては、
税理士や所管する税務署へご相談ください。



(例)100万円寄附すると、最大90万円の法人関係税(法人住民税、法人税、法人事業税)が軽減され、
企業の実質負担は約10万円となります。

対象条件

本社※が**鈴鹿市外**に所在する企業様

※地方税法における
「主たる事務所又は事業所」



Point 2

ほかにも、こんな**メリット**があります！



留意事項

寄附を行うことの代償として経済的な利益を受けることは禁止されています。

【ご寄附の流れ】



留意事項

- 寄附をいただいてから予算化し、市議会の承認を経てから実施する事業もあります。
- 寄附をいただく時期により、年度内に寄附金を活用する事業の実施が困難な場合は、「鈴鹿市企業版ふるさと納税基金条例」に基づき、基金に積み立て、翌年度以降に当該事業を実施する財源として活用させていただくことがあります。
- ご希望の事業が実施に至らなかった場合や、寄附金額が事業費を上回った場合は、相談の上、他の事業に活用させていただきます。

鈴鹿市 政策経営部 総合政策課

〒513-8701

各事業の詳細はこちら

三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号

鈴鹿市 企業版ふるさと納税



☎059-382-9038

✉sogoseisaku@city.suzuka.lg.jp